

# 子どもの貧困

～第3の居場所が作る未来とは～



現在、大きな社会問題となっている“子どもの貧困”。

貧しさは、子どもから知識や交流、温かいご飯を奪っていきます。

行き場がなく困っている子どもたちにとって「もう一つの居場所」が、必要とされているのではないのでしょうか。

今回は各地で子どもの貧困問題に携わる団体の活動内容を知って、

その団体が描いている理想的な“居場所”と実際に自分自身の活動が、

どのように影響し“子ども達の未来”へ繋がっているのかを考えたいと思います。



日時

2018年3月25日（日） 13:30～17:00

会場

静岡県産業経済会館 3階 大会議室

定員：100名／参加費：無料

プログラム

【ゲスト】さいたまユースサポートネット 青砥恭氏による基調講演（13:40～14:40）

## 「若者支援と地域づくりと課題」

【ゲスト】アンビシャス・ネットワーク活動報告（15:00～15:30）

静岡学習支援ネットワーク活動報告（15:30～16:00）

☆フリートーク（16:20～16:50）



申し込み(必須)

2018年2月24日（土）より申し込み受付開始

下記メール、又はお申し込みフォームにて受付いたします。

【メール】 [study.at.shizuoka@gmail.com](mailto:study.at.shizuoka@gmail.com)

※件名に“報告会参加希望”、本文にお名前・ご所属・ご連絡先を入力の上送信下さい。

【お申込みフォーム】 <https://goo.gl/forms/iIXABUw30Cl3pgMg1>

※上記アドレスから必要事項を記入の上送信下さい。

こちらから確認メールを送信いたしますので、報告会1週間前まで返信がない場合、お手数ですが再度ご連絡ください。

☆青砥恭氏 紹介☆



NPO 法人さいたまユースサポートネット代表。元埼玉県立高校教諭、明治大学で講師（教育学、教育社会学、教育法学）。「子ども・若者と貧困」の課題を研究している。2011年、特定非営利活動法人さいたまユースサポートネットを設立。さいたま市内で、居場所のない若者のコミュニティづくりを応援している。著書には、『ドキュメント高校中退』（筑摩書店）『若者の貧困・居場所・セカンドチャンス』（編著 太郎次郎社エディタス）、『ここまで進んだ！格差と貧困』（共著 新日本出版社）、『続 移行支援としての高校教育』（共著 福村出版）など。

HP : <http://www.saitamayouthnet.org/>

☆アンビシャス・ネットワーク 紹介☆

アンビシャス・ネットワークは2011年に「大学生だからできる貧困支援はないか」という問いから前身となる学生団体が立ち上がり、愛知県半田市にて生活保護家庭、及び一人親家庭の中学生に対して学習支援を行ってきました。子どもたちと向き合う中で、勉強に向かう以前の生活環境に問題があることに気づき、他団体や専門職と連携し、食事支援や医師による往診などを学習支援に参加する生徒に実施し、勉強が出来るようになる支援も行ってきました。2015年より学生団体の中心メンバーにより法人を立ち上げ、現在では市の事業として学習支援を実地しながら、誰でも通う事の出来る中高生向けの居場所支援活動など対象を広げて地域に根差した活動を展開しています。



HP : <https://ambitious-network.jimdo.com/>

☆静岡学習支援ネットワーク☆

経済的理由で塾に通いたくても通えない、学校に居場所がなくて通いたくても通えないというような「勉強したくても、できない子どもたち」がいます。静岡学習支援ネットワークはそんな子どもたちの力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生した団体です。勉強すること、学ぶことは楽しい！そう感じてもらえるような居場所づくりを目指しています。現在、あべこや（安倍川）、みらこや（草薙）、宿題カフェ（静岡）の3教室で活動しており、それぞれ週1回のペースで学習支援を行っています。教室では、勉強だけでなく、料理やレクリエーションなどで季節ごとのイベントも開催しています。

HP : <https://shizuoka-study-support.jimdo.com/>



<会場までのアクセス>

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 44-1

【徒歩】JR 静岡駅北口より 15分

【バス】JR 静岡駅北口 10 番のりば

県立病院高松線（日赤病院前下車） 5分

◆駐車場はございません。近隣有料駐車場をご利用ください。

静岡県産業経済会館:054-273-4330

